取扱説明書
保証書

おてがるスマホ 01

目次
ご利用の準備
基本操作
注意事項
付録
保証書

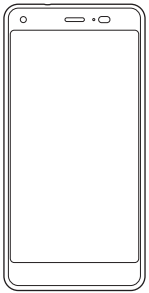
ごあいさつ

このたびは、「おてがるスマホ01」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に『取扱説明書・保証書』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
最新の『取扱説明書』につきましては、UQ mobileホームページをご参照ください。

- URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- auが提供しているサービスはご利用になれませんので、あらかじめご了承ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

● 取扱説明書・保証書(本書)

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- USB Type-Cケーブル
- microSDメモリカード
- イヤホン

主な周辺機器(オプション品)のご紹介
- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)

memo

◎指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
◎電池は本製品に内蔵されています。
◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書・保証書』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。

■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を次のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[電話]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[発信]	ホーム画面の「電話」をタップします。続けて「ダイヤル」タブをタップした後に「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
スリープモード中に⏻（電源ボタン）	スリープモード中に⏻（電源ボタン）を押します。

・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書はUQ mobile Multi IC Card 01を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。
また、本書では画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例

memo

◎本書では本体カラー「ルビーレッド」の表示を例に説明しています。
◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎本書では「UQ mobile Multi IC Card 01」の名称を「SIM」と表記しています。
◎本書では「microSD™メモリカード(市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」、「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メール(緊急地震速報)を利用することができます。

1 ホーム画面→[緊急速報メール]

目次

ごあいさつ 1
同梱品一覧 1
取扱説明書について 2
本書の表記方法について 2
緊急速報メールを利用する 4

目次 5

ご利用の準備 7

各部の名称と機能 7
SIMについて 9
本製品の保存領域について 12
microSDメモリカードを利用する 13
充電する 16
電源を入れる／切る 18
初期設定を行う 19
SMSを利用する 23
Eメールアプリ(CosmoSia)を利用する 23
UQ mobileポータルを利用する 25
あんしんフィルター for UQ mobileを設定する 26
Wi-Fi®を設定する 27
スタート画面について 27

基本操作 29

タッチパネルの使いかた 29
ナビゲーションボタンの使いかた 30
文字を入力する 31
文字を拡大表示する 34
ホーム画面を利用する 34
ホーム画面を設定する 35
メニューを表示する 35
アプリを起動する 35
画面メモを保存する 35
本製品の状態を知る 36
自分の電話番号を確認する 38
マナーモードを設定する 38
機内モードを設定する 38
電話をかける 39
電話を受ける 40
連絡先を登録する 40
写真/動画でファイルを表示する 41
設定について 41

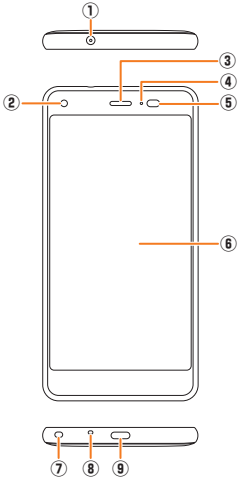
注意事項 42

本製品のご利用について 42
安全上のご注意(必ずお守りください) 44
材質一覧 52
取り扱い上のご注意 52
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意 58
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について 63
各種暗証番号／PINコードについて 65
データ通信料についてのご注意 66
アプリケーションについて 67

アプリの権限を設定する 67
マナーも携帯する 68
付録 69
ソフトウェアを更新する 69
故障とお考えになる前に 70
アフターサービス 71
主な仕様 72
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 74
FCC Notice 75
輸出管理規制 76
知的財産権について 76

ご利用の準備

各部の名称と機能



① **イヤホンマイク端子**
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。

② **インカメラ(レンズ部)**

③ **受話口／スピーカー**
受話口はスピーカーと兼用しています。通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音、アラーム音などが聞こえます。通話終了後、耳元で大きな音が鳴らないよう、徐々に設定音量まで上がります。

④ **着信(充電)ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信時には設定内容に従って点滅します。

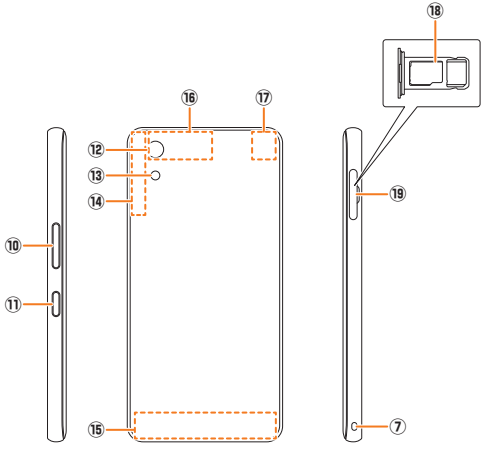
⑤ **近接センサー／光センサー**
近接センサーはタッチパネルの誤動作を防ぎます。
また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑥ **ディスプレイ(タッチパネル)**
表面部は、ハイブリッドシールドで保護されています。ハイブリッドシールドを剥がして使用すると、機能に影響を及ぼす場合があるため剥がさないでください。

⑦ **ストラップ取付口**

⑧ **送話口(マイク)**

⑨ **外部接続端子**
本製品に使用できるACアダプタ(別売)などの接続時に使用します。



■カード挿入口カバーの開きかた

○部分に軽く爪をかけて開いてください。奥まで爪を差し込むとパッキン部に傷を付けてしまうためご注意ください。

⑩ (+)(−) **音量上／下ボタン**
音量を調節します。(−)(音量下ボタン)を1秒以上長く押すと「マナーモード」(▶P.38)を設定できます。

⑪ (⏻) **電源ボタン**
電源オン／オフやスリープモードの移行／解除などに使用します。

⑫ **アウトカメラ(レンズ部)**

⑬ **撮影ライト／簡易ライト**

⑭ **内蔵Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部※**

⑮ **内蔵メインアンテナ部※**

⑯ **内蔵サブアンテナ部※**

⑰ **内蔵GPS／サブアンテナ部※**

⑱ **microSDメモリカード／SIMトレイ**

⑲ **カード挿入口カバー**

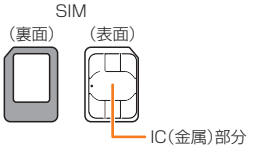
※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

◎外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.19)をご参照ください。

SIMについて

SIMにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はUQ mobile Multi IC Card 01に対応しております。



memo

◎SIMを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- SIMのIC（金属）部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

◎SIMを正しく取り付けていない場合やSIMに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したSIMはなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたSIMを挿入しないでください。故障の原因となります。

SIMが挿入されていない場合

SIMが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「?」が表示されます。
- 電話をかける※／受ける
- メール（CosmoSia）の初期設定および送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※110（警察）・119（消防機関）・118（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります（なお、緊急通報番号は国によって異なります）。

SIMを取り付ける／取り外す

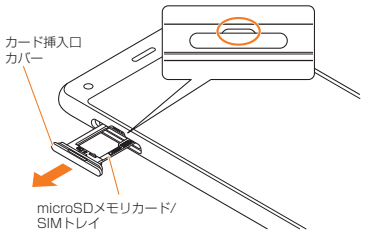
■取り付け／取り外し時のご注意

- SIMの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

■SIMを取り付ける

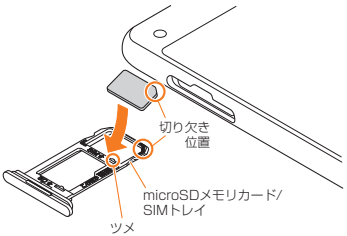
1 ミゾに爪をかけてカード挿入口カバーを引き出し、microSDメモリカード／SIMトレイを取り外す

矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。



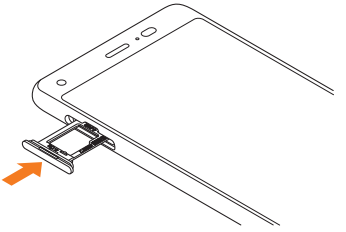
2 SIMをmicroSDメモリカード／SIMトレイに取り付ける

- SIMの向きに注意してください。切り欠きの位置に注意して、IC（金属）部分／端子面が下になるように取り付けてください。誤った向きで取り付けた場合、SIMが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。
- SIMがmicroSDメモリカード／SIMトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。
- microSDメモリカード／SIMトレイのツメ部分が破損しないように、SIMを矢印の方向に滑り込ませて取り付けてください。

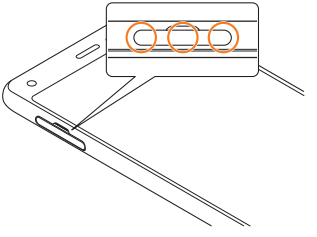


3 本体にmicroSDメモリカード／SIMトレイを差し込む

矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。microSDメモリカード／SIMトレイの向きに注意してください。



4 ○の位置をしっかりと押し、カード挿入口カバーが本体から飛び出していないことを確認する

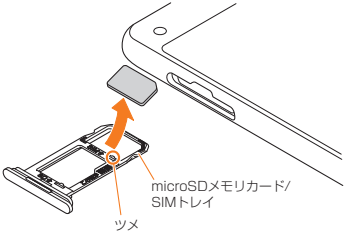


■SIMを取り外す

・microSDメモリカード／SIMトレイの取り外しについて詳しくは、「SIMを取り付ける」(▶P.10)をご参照ください。

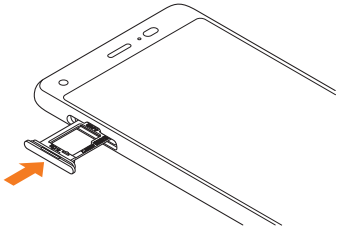
1 ミゾに爪をかけてカード挿入口カバーを引き出し、microSDメモリカード／SIMトレイを取り外す

2 SIMをmicroSDメモリカード／SIMトレイから取り外す

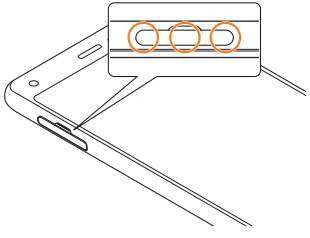


3 本体にmicroSDメモリカード／SIMトレイを差し込む

矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。microSDメモリカード／SIMトレイの向きに注意してください。



4 ○の位置をしっかりと押し、カード挿入口カバーが本体から飛び出していないことを確認する



本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

◎アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

- microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

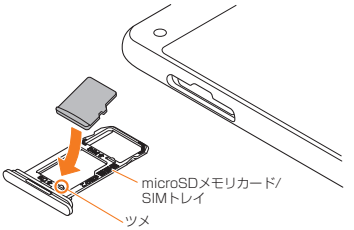
■microSDメモリカードを取り付ける

- microSDメモリカード／SIMトレイの取り外しについて詳しくは、「SIMを取り付ける」(▶P.10)をご参照ください。

1 ミゾに爪をかけてカード挿入口カバーを引き出し、microSDメモリカード／SIMトレイを取り外す

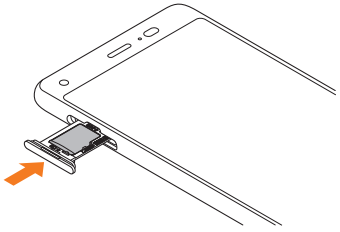
2 microSDメモリカードをmicroSDメモリカード／SIMトレイに取り付ける

- microSDメモリカードの向きに注意してください。誤った向きで取り付けた場合、microSDメモリカードが落下したり、本機の破損・故障の原因となることがあります。
- microSDメモリカードがmicroSDメモリカード／SIMトレイから浮かないように、しっかりと取り付けてください。
- microSDメモリカード／SIMトレイのツメ部分が破損しないように、microSDメモリカードを矢印の方向に滑り込ませて取り付けてください。

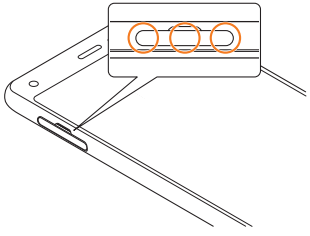


3 本体にmicroSDメモリカード／SIMトレイを差し込む

矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。microSDメモリカード／SIMトレイの向きに注意してください。



4 ○の位置をしっかりと押し、カード挿入口カバーが本体から飛び出していないことを確認する



memo

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

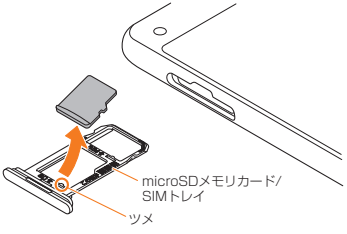
■microSDメモリカードを取り外す

・microSDメモリカード／SIMトレイの取り外しについて詳しくは、「SIMを取り付ける」(▶P.10)をご参照ください。

1 ミゾに爪をかけてカード挿入口カバーを引き出し、microSDメモリカード／SIMトレイを取り外す

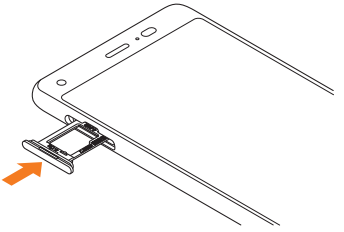
矢印の方向に、ゆっくりと水平に引き出してください。

2 microSDメモリカードをmicroSDメモリカード／SIMトレイから取り外す

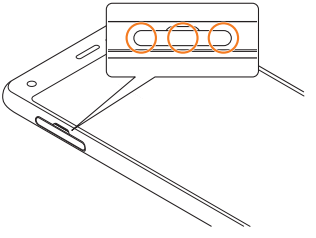


3 本体にmicroSDメモリカード／SIMトレイを差し込む

矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。microSDメモリカード／SIMトレイの向きに注意してください。



4 ○の位置をしっかりと押し、カード挿入口カバーが本体から飛び出していないことを確認する



memo

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる（消去される）ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。

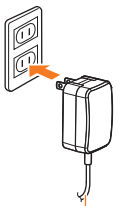
memo

◎充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、UQお客さまセンターまでご連絡ください。
◎充電中に「100%」が表示された後でも、すぐに充電ランプが緑色に点灯しないことがありますが、間もなくランプの色が緑色に変わり充電完了となります。
◎接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

本製品に使用できるACアダプタ(別売)を接続して充電する方法を説明します。
周辺機器はUQコミュニケーションズのホームページからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

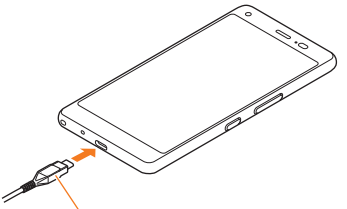
1 ACアダプタの電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む



ACアダプタ（別売）

2 ACアダプタのUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



AC アダプタ（別売）

3 充電が完了したら、外部接続端子からACアダプタのUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

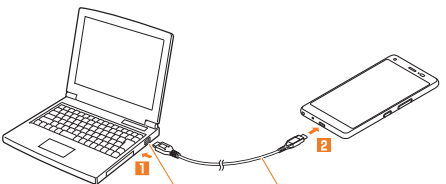
パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブル（市販品）を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル（市販品）をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル（市販品）のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。
・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート　USB Type-C ケーブル（市販品）

3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル（市販品）を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

◎電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで（電源ボタン）を長く押す

スタート画面が表示されます（▶P.27）。

- 初めて電源を入れたときは、初期設定が起動します。「初期設定を行う」（▶P.19）を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

memo

◎電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎画面の点灯中に（電源ボタン）を押すか、一定時間操作しないで画面が消灯すると、スリープモードに移行します。

電源を切る

1 （電源ボタン）を1秒以上長く押す

2 ［電源を切る］

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 (電源ボタン)と(音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押す

memo

◎強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って言語やWi-Fi®、Googleアカウントなどの設定を行ってください。

■Googleアカウントの設定について

Googleアカウントの設定を行うと、「Gmail」、「Playストア」、「Duo」などのGoogle社のアプリを利用できます。
主な設定項目は次の通りです(次の項目以外にお客様の「姓」と「名」などの登録が必要となります)。

ユーザー名	お客様のGoogleアカウント(ユーザーID)、および、メールアドレスとなる任意の文字列を登録します。お好きなユーザー名を登録できますが、他のユーザーと重複するユーザー名は設定できません。
パスワード	Googleアカウントを利用する際のパスワードを登録します。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[使ってみる]→[新規としてセットアップ]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用できる言語を変更できます。
- 別の端末からのデータを引き継ぐ場合は、「データのコピー」を選択し画面の指示に従って操作してください。

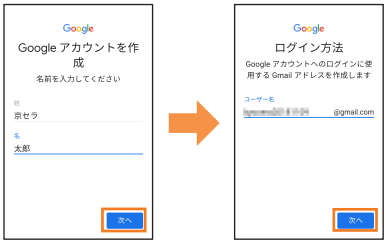
2 必要に応じて、接続するWi-Fi®ネットワークの設定を行う→[アカウントを作成]→[自分用]／[子供用]

- Wi-Fi®ネットワークの設定をしない場合は[セットアップ時にモバイルネットワークを使用する]→[続行]と操作します。
- Googleアカウントをお持ちの場合は、メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]と操作してください。

- [スキップ]→[続行]と操作すると、名前の入力画面が表示されて入力した後に手順7に進みます。以降は画面の指示に従って操作してください。

3 お客様の「姓」、「名」を入力→[次へ]→生年月日と性別を入力→[次へ]→任意のユーザー名を入力→[次へ]

ユーザー名の登録確認が開始されます。

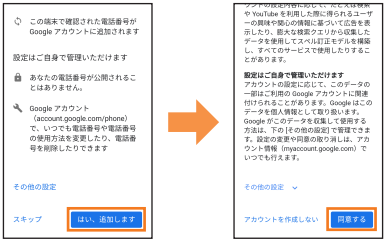


4 パスワードを入力→確認用にパスワードを再入力→[次へ]

5 電話番号追加についての注意事項を確認し、[はい、追加します]→内容を確認し、[同意する]

- 設定しない場合は[その他の設定]→[いいえ、電話番号を追加しません]にチェックを付けて[完了]と操作してください。

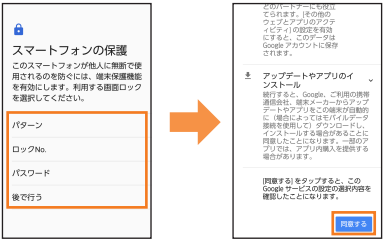
※設定した電話番号に、Google確認コードが書かれたテキストメッセージが送信されます。



6 内容を確認し、[次へ]

7 保護方法を選択→画面の指示に従ってセキュリティと通知を設定→Googleサービスの設定を確認し、[同意する]

- スマートフォンの保護の設定をしない場合は、[後で行う]→[スキップ]と操作してください。



8 [有効にする]／[有効にしない]→Voice Matchの設定画面で[利用しない]／[使用する]→必要に応じて設定を行う

9 必要に応じて、その他の設定項目の設定を行う→[設定を完了]

10 内容を確認し、チェックを付けて[次へ]

・設定しない場合は、そのまま「次へ」をタップします。

11 内容を確認し、[今すぐはじめる]／[OK]

SMSを利用する

SMSとは、携帯電話どうしで電話番号を宛先として、短い文字メッセージのやり取りができるサービスです。

1 ホーム画面→[メッセージ]

Eメールアプリ(CosmoSia)を利用する

CosmoSiaは複数のアカウントに対応したメールアプリです。
UQのEメールサービスはCosmoSiaでご利用になれます。

memo

◎UQのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQお客さまセンターまたはUQホームページをご確認ください。

初期設定を行う

1 ホーム画面→[コミュニケーション]→[CosmoSia]

2 [同意する]

3 [UQ mobile メール]→[許可]

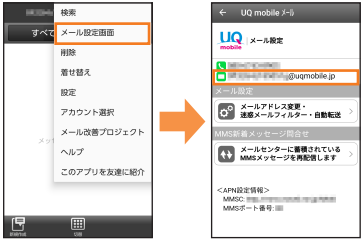
メールサーバ(MMS)との通信が開始されます。
通信が完了すると、メール設定画面にEメールアドレスなどのお客様情報が表示されます。

4 [←]→[いいえ]

Eメールアドレスを確認／変更する

1 [⋮]→[メール設定画面]

メールアドレスを確認できます。



2 メールアドレスの変更や迷惑メールフィルターを設定する場合は、[メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送]

以降は画面の指示に従って操作してください。

- Eメールアドレスの変更後は、メール設定画面を再度表示して、設定したアドレスが正しいかご確認ください。

UQ mobileポータルを利用する

UQ mobileのデータ通信の利用状況の表示、データチャージおよび各サービスの利用等を行うことができます。

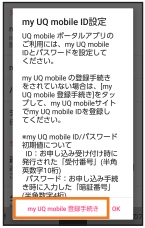
memo

◎ご利用には、my UQ mobile IDとパスワードが必要です。
初期値は次のとおりです。
my UQ mobile ID：UQ mobileお申し込み受け付け時に発行された「受付番号」
パスワード：お申し込み手続き時に入力した「暗証番号」

1 ホーム画面→[ポータルアプリ]→[同意する]

・お客様情報の取得と利活用設定の許諾についての画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ「OK」をタップします。

2 [my UQ mobile 登録手続き]



3 my UQ mobile ID／パスワードを入力→画面を下までスクロールして[ログインする]→以降、画面の指示に従って登録

4 登録したmy UQ mobile IDおよびパスワードを「設定」タブに設定する

あんしんフィルター for UQ mobileを設定する

お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリのご利用を制限するUQ mobileのフィルタリングアプリです。

1 **ホーム画面→[ユーティリティ]→[あんしんフィルター for UQ mobile]→[OK]**

2 **[同意する]**

3 **[許可]**

4 **利用開始の手続きを開始**

Wi-Fi®を設定する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。

1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]

2 「Wi-Fi」を「ON」にする

Wi-Fi®接続先選択画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※を入力し、「接続」をタップします。

※パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 接続が完了すると、ステータスバーに「▼」が表示されます。

■ WPS方式のアクセスポイントを利用する場合

1 Wi-Fi®接続先選択画面→[メニュー]→[Wi-Fi設定]

2 [WPSプッシュボタン]／[WPS PIN入力]

- WPSボタン方式の場合は、アクセスポイントのWPSボタンを押し続けてアクセスポイントをWPSモードに設定すると、自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- WPS PIN入力方式の場合は、表示されたPINコードをアクセスポイントに入力すると、登録が開始されます。

memo

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにした場合、電池の消費が大きくなります。無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用していないときは、オフにすることをおすすめします。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 画面を左にスライド

ホーム画面が表示されます(▶P.34)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

① **時計表示**

② **通知表示**

不在着信などのお知らせを表示します。

- 通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

《スタート画面》

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に(電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に(電源ボタン)

スタート画面が表示されます(▶P.27)。

memo

◎スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[設定]→[その他]→[ディスプレイ]→[スリープ]と操作して、時間を選択します。

◎スリープモード中に(電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

基本操作

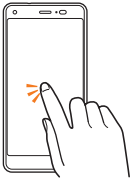
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - 水中での操作

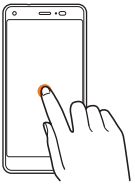
■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



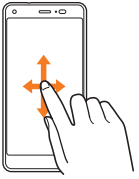
■ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



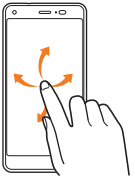
■スライド／スワイプ

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



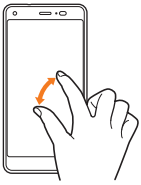
■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



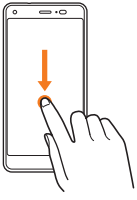
■ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



memo

◎手袋を装着した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。

- 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
- 素手でタッチ操作した後に手袋を装着してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。
- 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

ナビゲーションボタンの使いかた

画面下部のナビゲーションボタンには次のボタンが表示されます。

戻る（戻るボタン）：1つ前の画面に戻ります。
ホーム（ホームボタン）：ホーム画面を表示します。
アプリ履歴（アプリ履歴ボタン）：最近使用したアプリの一覧を表示します。

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードを切り替える

1 文字入力画面→[設定]→[キーボードの種類]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音たて書き]

キーボードが切り替わります。詳しくは「テンキーボード／QWERTYキーボード／50音たて書きで入力する」(▶P.31)をご参照ください。

テンキーボード／QWERTYキーボード／50音たて書きで入力する

■文字入力画面（テンキーボード）

一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.33)をご参照ください。

《テンキーボード》

■文字入力画面（QWERTYキーボード）

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。

《QWERTYキーボード》

■文字入力画面（50音たて書き）

ひらがなが50音で並んでいるキーボードです。

《50音たて書き》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト**

文字を入力すると、予測変換候補リストが表示されます。「日本語予測変換」をオフに設定した場合は、文字を入力して「変換」をタップすると通常変換候補リストが表示されます。

- 「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

③ **戻すキー／バックキー／設定キー**

戻す：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

⮌：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

- テンキーボードで入力時に表示されます。

設定：iWnn IME設定を表示します。

- 50音たて書きで入力時に表示されます。

④ **ソフトウェアキーボード**

⑤ **カーソルキー**

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー※**

記号：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。ロングタッチすると、引用入力を利用できます。

英数カナ：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

⑦ **文字種切替キー※**

入力する文字種を切り替えます。

タップするたびに次の文字が緑色に表示されて、文字種が切り替わります。

あ：ひらがな漢字入力　　A：半角英字入力

1：半角数字入力

- テンキーボードで文字種切り替えキーを左右にスライドしても、文字種の切り替えができます。
- iWnn IMEメニューの「入力モード」では、カタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。
  - 全角英字入力
  - 全角数字入力
  - 全角カタカナ入力
  - 半角カタカナ入力

⑧ **削除キー**

⑨ **変換キー／スペースキー**

変換：通常変換候補リストを表示します。

- ひらがな入力中に表示されます。

空白：スペースを入力します。

- 文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。

⑩ **確定キー／改行キー**

確定：入力中の文字を確定します。

改行：カーソルの位置で改行します。

- アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字／小文字切替キー**

：入力した文字（ひらがな／カタカナ）を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

⑫ **シフトキー**

タップするたびに、小文字入力／大文字入力ロック／大文字入力を切り替えます。

また、QWERTYキーボードで全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

⑬ **長音キー**

長音（ー）を入力します。

※操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

memo

予測変換について

◎ひらがな入力中に「変換」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「削除」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

音声入力について

◎キーボード上部の「 」をタップすると、音声入力ができます。

■フリック入力について

「テンキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで入力できます。

キーに触れると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」に触れたまま下にフリックすると入力されます。

例：「お」を入力する場合

文字を拡大表示する

メニュー項目などの文字を大きく表示することができます。

1 ホーム画面→[設定]

2 [フォントサイズ]→「小」／「中」／「大」／「最大(でか文字)」にチェックを付けて[OK]

memo

◎ホーム画面→[設定]→[その他]→[ディスプレイ]→[フォントサイズ]と操作しても文字を拡大表示できます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面には、お買い上げ時に以下の配置でアイコンが設定されています。左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。

《ホーム画面》

① **ステータスバー**(▶P.36)
② **クイック検索ボックス**
③ **天気ウィジェット**
歩数や時刻も表示されます。
④ **アプリ／フォルダ**※
インストールされているアプリのアイコン／フォルダが表示されます。
⑤ **よく使う連絡先**(▶P.41)
⑥ **インジケータ**

※フォルダについて
複数のアプリが収納されたアイコンを「フォルダ」と呼びます。フォルダをタップすると、収納されたアプリを選択できます。フォルダを閉じるときは、「閉じる」をタップします。

ホーム画面を設定する

ホーム画面の各種表示を設定できます。

1 ホーム画面で背景をロングタッチ

ホーム画面の設定画面が表示されます。

2

ウィジェットを追加	ホーム画面にウィジェットを追加します。	
壁紙設定	ホーム画面の壁紙を変更します。	
ホームの設定	よく使う連絡先の設定	▶P.41「ホーム画面の「よく使う連絡先」に登録する」
	ご案内	ホーム画面のガイドを表示します。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「メニュー」や「⋮」、「≡」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

アプリを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面→起動するアプリ／フォルダをタップ

・ フォルダをタップした場合は、フォルダ内のアプリ一覧から起動するアプリをタップします。

画面メモを保存する

表示中の画面を、画面メモとして写真に撮り、保存しておくことができます。

1 保存したい画面の表示中に⏻（電源ボタン）を1秒以上長く押す

2 [画面メモ]

memo

◎ 保存した画面メモを見る場合は、「写真/動画でファイルを表示する」(▶P.41)をご参照ください。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（CosmoSia）
	新着SMSあり
	新着メールあり（Gmail）
	緊急速報メールあり
	電池残量が少ないとき
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	通話中または着信中
	UQ／auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	ソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングとBluetooth®テザリングを同時に使用中、Wi-Fi®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中、Bluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント中

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
100%	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
4G 4G	電波の強さ・通信状態（LTE／WiMAX 2+） レベル4／圏外／通信中 LTE／WiMAX 2+使用可能※／海外利用中（ネットワークに応じた通信方式も合わせて表示します）
	機内モード設定中

アイコン	概要
	SIM未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	VPN接続中
	アラーム設定あり
	マナーモード設定中 バイブレーション設定中／ミュート設定中／ドライブ設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	GPS利用中
	データセーバー設定中

※日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

① **日付時刻のエリア**
② **画面の明るさ**
③ **ON/OFF設定アイコン**
④ **お知らせ(通知)エリア**
⑤ **通知消去**
通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。
⑥ **閉じるタブ**
通知パネルを非表示にします。

memo

◎通知パネルを上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
◎通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→[設定]→[プロフィール]
プロフィール画面が表示されます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 −(音量下ボタン)を1秒以上長く押す
マナーモードが設定／解除されます。
- ホーム画面→[設定]→[音]→「マナーモード種別」の[変更]→[バイブレーション]／[ミュート]／[ドライブ]と操作すると、マナーモードの種別を変更できます。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 ステータスバーを下にスライド

2 「機内モード」をタップして「ON」にする
機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「✈」が表示されます。
- ホーム画面→[設定]→[その他]→[ネットワークとインターネット]→「機内モード」を「ON」にしても、機内モードを設定できます。

電話をかける

1 ホーム画面→[電話]→[ダイヤル]タブをタップ

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]→通話→[電話を切る]

通話中に[+](音量上ボタン)／[−](音量下ボタン)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

memo

◎発信中／通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎よく連絡する相手を「よく使う連絡先」に登録(▶P.41)しておけば、さらに簡単に電話がかけられます。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎着信拒否や伝言メモ、ドライブモードを設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、設定は自動的に5分間解除されます。

電話を受ける

1 **着信画面→「」を右にスライド**
通話を開始します。

2 **通話→[電話を切る]**

伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 **着信画面→[メニュー]**

2 **[伝言メモに録音]→[録音を開始]**

ステップアップ着信を設定する

不在着信通知を受けた後、同じ電話番号から10分以内に再度着信を受けると着信音を徐々に大きくしてお知らせするように設定します。

1 **ホーム画面→[設定]→[その他]→[アプリと通知]→[通話]→「ステップアップ着信」を「ON」にする**

着信相手非表示を設定する

着信時に相手の名前や画像を表示しないように設定します。

1 **ホーム画面→[設定]→[その他]→[アプリと通知]→[通話]→「着信相手非表示」を「ON」にする**

連絡先を登録する

電話帳に連絡先の各種情報を登録します。

1 **ホーム画面→[電話帳]**
- 連絡先が未登録の場合は、「連絡先を作成」をタップして新規登録してください。

2 **[メニュー]→[連絡先を作成]→必要な項目を入力→[保存]**
- アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

■ホーム画面の「よく使う連絡先」に登録する

よく連絡する相手の連絡先を、最大3件までホーム画面の「よく使う連絡先」(▶P.34)に登録できます。

1 ホーム画面で背景をロングタッチ→[ホームの設定]→「よく使う連絡先の設定」の「変更」をタップ

2 [登録]→登録する連絡先をタップ

- すでに登録済みの「よく使う連絡先」を変更する場合は[変更]→[登録解除]／[連絡先を変更]と操作してください。

memo

◎あらかじめ登録する相手を電話帳に登録しておいてください。
◎ホーム画面で未登録の「よく使う連絡先」をタップして、手順2の操作を行っても連絡先を登録することができます。

写真/動画でファイルを表示する

写真/動画は、内部ストレージ／microSDメモリカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

1 ホーム画面→[写真/動画]

2 データを選択

データが再生されます。

memo

◎写真/動画で表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

設定について

基本的な設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[設定]

設定メニューが表示されます。

項目	設定内容
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能などを設定します。
壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
音	音やマナーモードに関する設定を行います。
スタート画面	スタート画面の表示やセキュリティの種類を変更します。
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
その他	その他の設定メニューを表示します。

注意事項

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- SIMを取り付ければ、本製品での通話、データの送受信が可能になります。本製品がネットワークに接続されない場合は、UQスポットまたはUQお客さまセンターにお問い合わせください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 本製品は国際ローミング対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:UQコミュニケーションズ株式会社
UQモバイル沖縄株式会社
製造元:京セラ株式会社

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
◎本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、周辺機器共通

⚠危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.58「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.58「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.58「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.58「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

オプション品は、UQコミュニケーションズ株式会社が指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。着信バイブレータ(振動)設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.58「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本体内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本体内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

本製品内のSIMやmicroSDメモリカードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズ部に直射日光などを長時間あてないでください。
レンズ部の集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.52「材質一覧」

本製品の受話口／スピーカー、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■SIMについて

⚠注意

SIMを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ おてがるスマホ01本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(側面部)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
背面パネル、音量上／下ボタン	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電源ボタン	アルミ合金	アルマイト
ハイブリッドシールド(ディスプレイ表面部)	アクリル系樹脂	表面:防汚ハードコート
ディスプレイ	強化ガラス	−
カメラレンズ部	PMMA樹脂	表面:ハードコート
撮影ライト／簡易ライト部	PMMA樹脂	−
カード挿入口カバー	PC樹脂、シリコンゴム	アクリル系UV硬化塗装処理
microSDメモリカード／SIMトレイ	POM樹脂	−

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIM、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP5X)を発揮するために、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでカード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  - 本製品本体
  - SIM(本製品本体装着状態)
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。

- カメラのレンズ部に直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ（振動）設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、UQお客さまセンターもしくはUQスポットまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品本体内で確認できるようになっております。
  《確認方法》ホーム画面で[設定]→[その他]→[認証情報]
  本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品のディスプレイ表面部は、ハイブリッドシールドで保護されております。ハイブリッドシールドを剥がして使用すると、機能に影響を及ぼす場合があるため剥がさないでください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- カメラのレンズ部やディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。

- カメラのレンズ部やディスプレイの内側が結露しやすい環境について
以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズ部やディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
・気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
・寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
・湿度が高い環境でカード挿入口カバーを開閉する

- くもりを取る方法
高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でカード挿入口カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。

- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなったり、スリープモードの解除ができなくなったりする場合がありますのでご注意ください。

- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でセンサー部を乾拭きしてください。

- 通常はカード挿入口カバーを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

- 本製品内のSIMやmicroSDメモリカード挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、受話口/スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

Li-ion 00

（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、UQお客さまセンターもしくはUQスポットまでご連絡ください。電池は内蔵型のため、UQお客さまセンターなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器（別売）やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ SIMについて

- SIMの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIMに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission（FCC）の認証を受けています。
  本製品のFCC IDはJOYHA43です。
  また、以下の方法でも確認できます。
  確認方法：
  ホーム画面で［設定］→［その他］→［認証情報］

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品はカード挿入口カバーが完全に装着された状態で保護等級（JIS C 0920）のIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
また、MIL規格準拠※4の耐衝撃性能を実現しております（当社試験方法による）。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。（塵埃（じんあい）の侵入を完全に防止するわけではありません。）
※4 MIL規格準拠
アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7:Shock-Procedure Ⅳに準拠した落下試験（高さ1.22mから合板（ラワン材）に本製品を26方向で落下させる）を実施しています。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- カード挿入口カバーをしっかり閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口／スピーカー・送話口（マイク）などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口／スピーカー・送話口（マイク）などに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

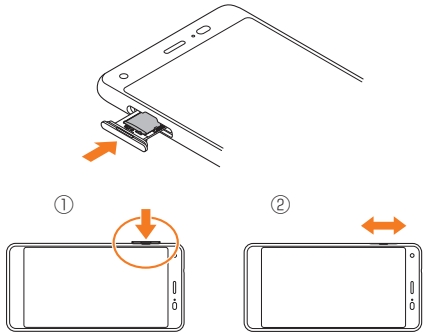
● 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
● 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
● 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
● 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
● 本製品は水に浮きません。

● カード挿入口カバーについて

- カード挿入口カバーはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

カード挿入口カバーの閉じかた

矢印の方向に、ゆっくりと水平に差し込んでください。
カバーを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。その後に②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



● 水以外が付着した場合

- 万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、カード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

●水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

●ゴムパッキンについて

- カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、UQお客さまセンターもしくはUQスポットまでご連絡ください。

●耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

●衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をしたりするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

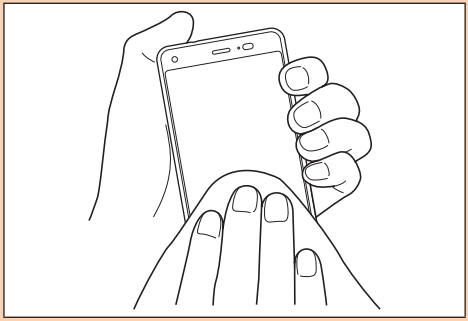
オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを接続してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず受話口／スピーカー・送話口（マイク）の水抜きをしてください。
そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

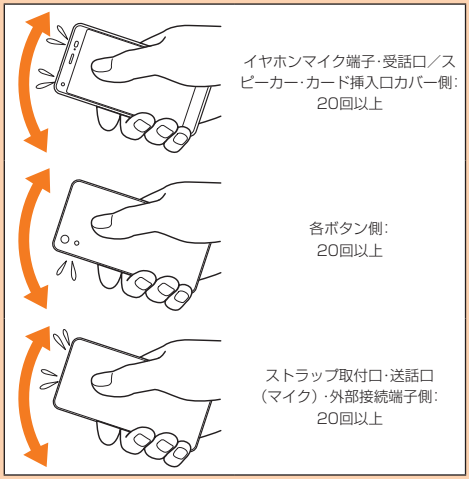


2 振りかたについて

① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。

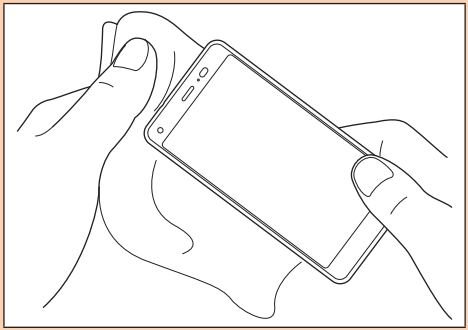
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち、水抜きをしてください。



② 出てきた水分を拭き取ります。
※ 受話口／スピーカー・送話口（マイク）、外部接続端子部、イヤホンマイク端子部は特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
③ 乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、受話口／スピーカー・送話口（マイク）・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

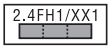
1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、UQお客さまセンターもしくはUQスポットまでお問い合わせください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1**



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

- **無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52 (5.2GHz帯 / 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch)
- W53 (5.3GHz帯 / 52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch)
- W56 (5.6GHz帯 / 100,102,104,106,108,110, 112,116,118,120,122,124,126,128,132,134, 136,140ch)

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	留守番電話サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	お買い上げ時の初期設定に従う

PINコードについて

■PINコード

第三者によるSIMの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、SIMが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、UQお客さまセンターもしくはUQスポットまでお問い合わせください。

・PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】

Googleアカウント ID
@gmail.com

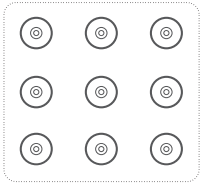
セキュリティ（スタート画面）：ロックNo.

Googleアカウントパスワード

セキュリティ（スタート画面）：パスワード

my UQ mobile ID

セキュリティ（スタート画面）：パターン



パスワード

※アカウントやパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可しない」／「許可」をタップしてください。

例：写真/動画を起動した場合

1 ホーム画面→[写真/動画]

2 「ご案内」を確認し、[次へ]→アクセス権限の確認画面で[許可しない]／[許可]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

memo

◎許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎権限の設定を変更するには、ホーム画面→[設定]→[その他]→[アプリと通知]→[アプリ情報]→設定を変更するアプリをタップ→[権限]→変更する権限を[OFF]／[ON]と操作します。
◎アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
◎本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 詳しくは、京セラホームページのサポート情報をご覧ください。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアのダウンロード後に再起動をすると、ソフトウェア更新が完了します。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[システム]→[ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
◎ ソフトウェア更新／OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.16
	□(電源ボタン)を着信ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.18
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？	P.16
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.16
	指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.16
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	□(電源ボタン)と□(音量上ボタン)を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.19
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.16
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.16
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.18
	SIMが挿入されていますか？	P.9
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.36
	サービスエリア外にいませんか？	P.36
	電源は入っていますか？	P.18
	SIMが挿入されていますか？	P.9
「圏外」が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.36
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.8
	SIM以外のカードが挿入されていませんか？	P.9
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.18
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.18
「?」が表示される	SIMが挿入されていますか？	P.9
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.16
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.16
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.56
	「圏外」が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.36
	使用していないアプリや機能を終了・停止してください。	－
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.36
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
画面照明が暗い	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	－

こんなときは	ご確認ください	参照
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	受話口が耳に当たるようにしてください。	P.7
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	−

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のUQコミュニケーションズのホームページのお客様サポートでご案内しております。
https://www.uqwimax.jp/support/

アフターサービス

■修理を依頼されるときは

修理については裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書（巻末）について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■SIMについて

SIMはご契約された通信事業者からお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、SIMの故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、UQスポットまたはUQお客さまセンターまでお問い合わせください。

■端末補償サービスについて

端末修理サービスおよび盗難・紛失時の補償サービスをご提供します。
サービスの内容については、UQコミュニケーションズのホームページをご参照ください。
https://www.uqwimax.jp/plan/mobile/option/hosyou/

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約5.0インチ、約1677万色、TFT全透過型 1,920×1,080ドット(FHD)	
質量	約136g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約72×145×8.7mm	
内蔵メモリ容量※1		ROM:約32GB RAM:約3GB
連続通話時間	国内	約960分
	海外(GSM)	約720分
連続待受時間	国内	約530時間
	海外(GSM)	約650時間
連続テザリング時間	約760分	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	
充電時間(目安)※2	指定のACアダプタ(出力:1.8A)(別売)使用時	約140分
カメラ撮像素子		CMOS
アウトカメラ有効画素数		約1,300万画素
インカメラ有効画素数		約500万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a／b／g／n／ac準拠

Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格 Ver.4.2準拠※3
	出力	Bluetooth®標準規格 Class 1
	通信距離※4	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能※5	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) Bluetooth SSP MAP(Message Access Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
※2 充電時間は、指定のACアダプタを使用した場合の一例となります。使用するACアダプタによって充電時間は異なります。
※3 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※5 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

memo

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV44の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.542W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.419W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関発行のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/emf

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION
Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying
You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、Googleマップ ナビ、Googleマップ ナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 7／Windows® 8.1／Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram. LLCの商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2018 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

（1）ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
（2）本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「ハイブリッドシールド」は京セラ株式会社の登録商標です。
本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

ACCESS、CosmoSialは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
©2012-2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

License

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ（お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報（特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況））を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011　The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせ先番号

・一部の内容につきましてはお近くのUQスポットでもお問い合わせを受け付けております。

■商品に関するお問い合わせ

UQお客さまセンター

（一般電話・携帯電話などから）

0120-929-818（通話料無料）

受付時間：9:00～21:00　年中無休

・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

・IP電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

※電話番号はお間違えの無いよう、十分ご確認のうえおかけください。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

UQ コミュニケーションズ株式会社

https://www.uqwimax.jp/

やめましょう、
歩きスマホ。

キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。

あぶない！
電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず ♲ マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2018年12月第1版

発売元：UQコミュニケーションズ株式会社
UQモバイル沖縄株式会社

製造元：**京セラ株式会社**

5KKTCB06KFXX-　1218YG